

令和4年度 香芝市環境審議会 会議録

開催日時

書面による開催 意見提出日:令和4年9月16日(金)

開催場所

書面による開催

会議概要

1 書面開催の方法

- 令和4年 9月 1日(木) 審議資料を郵送等により全委員へ送付
- 令和4年 9月16日(金) まで 各委員から「意見書」の提出
- 令和4年 9月30日(金) 「香芝市環境基本計画(第二次) 令和3年度取り組み結果の報告に対する各委員のご意見等」を全委員へ送付

2 議事

(1) 香芝市環境基本計画(第二次) 令和3年度取り組み結果の報告について

3 議事に対する各委員のご意見等

【議事(1)について】

香芝市環境基本計画(第二次) 令和3年度取り組み結果の報告に対する各委員のご意見等
(3名の方から計3件のご意見等有)

該当資料	該当項目	項目	ご意見等	担当課	市の回答
資料2	P5	CD2	②の事項にあります、進捗管理の指標(2)基本目標1の結果について、目標達成度「C」となっている新たな担い手への農地集積・集約化の面積においては、一定の施策で取組を行い、遊休農地の所有者への意向調査等を実施し中間管理機構(なら担い手サポートセンター)への登録誘導等を行っていますが、「接道が無い」・「農地が小さい(5a以下)」・「水利施設の不備」など、耕作にそぐわない農地が多く登録や登録後の担い手農家へのマッチングが整わず、指標が上がらないのが現状です。 また、市街化農地は登録が不可能であることや、市街化農地以外の農地でも、香芝市の農地は資産価値が高く(地場産事業や福祉・教育施設、沿道サービス等着手可能農地も多く)そもそも農地としての貸借(無償貸し出し)を嫌がる農家も少なくない状況です。 それらの状況を鑑み、農政部局との連携で遊休農地や保安全管理地の耕作への誘導策として、市内の意欲ある担い手農家への推進を強化し、飯米の価格安定を見据えた中、多用途米(飯米ではない用途で活用できる米)を採用し、農地法の3条や基盤強化法の集積計画(所有者より法による貸借を行う行為)に拘らず、『特定受委託契約』(国庫補助施策で認められた簡易な単年度毎の契約)で耕作契約し、更に作付け前に販売契約も行っておく「播種前契約」を整え、市内蔵元等と「酒米」用等の水稻の作付けを行い、生産拡大を推進し特産品の創造に繋げる取組を、令和3年度より進めているところです。これらの仕組みが定着すれば、継続した解消につながり、中間管理機構への集積や集約化の指標の数字は伸びずとも、実質の解消による集積が伸びていくと考えています。	農業委員会	「新たな担い手への農地集積・集約化の面積」については、左記要因により指標としてはご指摘をいただいているとおりです。 今後は、中間管理機構は基より、多用途米の活用等で、遊休農地の管理問題について独自の解消を図るとともに、指標設定の見直しも含め、検討してまいります。
資料2	P5	CD8	私共の香芝市商工会と関係が深い商工振興課(現商工観光課)の「市民等との協働による二上山の清掃活動の実施」についてはコロナ禍のため、令和3年度は実施をされていなかったが、二上山という香芝市にとって、又、奈良県にとってシンボリックな存在の山的美観の保全のためには、この病気が治まり次第、是非とも実施して、美しい自然を守ると共に健康増進のための登山活動も楽しんでもらいたいです。	商工振興課 (現:商工観光課)	令和4年度は感染症対策を講じたうえで、岳のぼり(市民等との協働による二上山の清掃登山活動)を実施いたしました。 取組を通じて、自然景観の保全に努めるとともに、登山活動の楽しさについても啓発を進めてまいります。
資料2	P5 P9	CD7 CD29	コロナ禍の影響がある中でも、行動制限が緩和されたため、前年度よりも活動がしやすくなった項目もあり、目標達成や進捗状況が高くなっており、市民環境部はもとより、各担当部署におかれましては、多大な尽力を頂きましたことに感謝いたします。 教育部の項目について、市民に対する講座や講演会も前年度より多く開催されており、コロナ禍であるということ以外でも、オンラインやYouTubeで配信すれば、より多くの方々に観て頂けるので、さらに積極的に進めて頂きたいと考えています。 CD31の学校給食における地域食材利用の取り組み実施では実績値4.5回に対して目標値が年1回以上というのは目標値が低すぎる感が否めませんが、子どもたちの食育と地域愛のため、また本市の農業の推進のためにも、生産者の方々と保健給食課が連携を取り、安心安全な地域食材を供給して頂きたいと思っております。	生涯学習課 (現:文化財課)	コロナ禍においても、各指標を達成するため、講座や講演会については、情勢に応じた感染症対策を講じながら、実施しております。ご意見いただいておりますオンライン配信等についても、感染症対策やICTの普及に合わせ、今後検討してまいります。
	P9	CD31	昨年度、縄田委員からのご意見にもごさいますように、多用途米の栽培の施策を進められているとのことで、学校給食で米粉パンや米粉のクリームシチューなどは人気が高く、米粉の供給量が賅えるのであれば、米粉を使った献立を増やしていくのが良いかと考えております。	保健給食課	学校給食については、食育や地産地消の推進のため、現状の取り組みを継続するとともに、生産者との連携を密にし、新たな献立についても随時検討してまいります。